

部課室名	漁港課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 高崎 伸彦 (菅野 晴行)	内線	4172 (4179)
事業種目	漁港漁村事業	事業名	事業区間	総事業費	
		漁港環境整備事業	坊勢漁港	260百万円	
所在地				着工予定年	完成予定年
飾磨郡家島町坊勢				H13年度	H14年度
事業の目的			事業内容		
地域住民の憩いの場、都市住民とのふれあいの場を創出するとともに、漁港における景観の保持、美化を図り、快適にして潤いのある漁港環境の形成に資することを目的とする。 事業主体：家島町(国費1/2・町費1/2)			(奈座地区) 植栽工 遊歩道等 (西ノ浦地区) 運動施設(ゲラウト) 植栽工 照明灯等	693 m2 1.0 式 8,100 m2 360 m2 1.0 式	
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>(奈座地区) 離島の玄関口として、姫路港～坊勢間の離島定期旅客船の発着場、および坊勢～西島間、家島～坊勢間の旅客船の発着場が平成11年度に完成し、引き続き、発着場背後は、地域物産店等の立地も予定されていることから、駐車場などの周辺施設整備と合わせて、島の玄関口としてふさわしい環境整備を行い、都市との交流を促進し島の活性化を図る。</p> <p>(西ノ浦地区) 狭隘で急峻な島であることから、公園、緑地といった公共施設が殆どなく、それらに対する地域の要望が非常に強く、地域の総合スポーツレクリエーション施設の一部として、運動施設及び緑地の整備を行う。また、運動施設(ゲラウト)は、緊急時の避難広場としても利用する。</p>				
(2)有効性・効率性 ・有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>離島であるが、人口(約3,100人)も増加傾向にあり、公園、緑地及びスポーツ施設が不足していることから、家島本島等の代替施設を利用しており、早急な施設整備に対する島民の要望が高い。</li> <li>平成3年度から地域の若者が中心になり「坊勢ペーロンフェスタ」が毎年開催され、町外からの参加者もあり、都市を含め交流イベントとして定着しており、当事業の運動施設と町単独事業の体育館、屋内プール等を合わせた総合スポーツレクリエーション施設の整備により、ペーロン競漕をはじめ、他のスポーツやイベントにおいても住民主体の交流が促進され若者の定住が図られる。</li> <li>B/Cは3.55である。</li> </ul>				
(3)環境適合性	当漁港における総合スポーツレクリエーション施設として、地域住民の健康増進と潤いのある漁港環境づくりの推進が図られる。				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>奈座地区においては、定期旅客船の発着場が既に供用されていることから、島の玄関口として、背後の早急な整備が求められている。</li> <li>西ノ浦地区においては、スポーツセンターとして体育館・屋内プール等を町単独事業により平成12年度から平成14年度にかけて整備することから、漁港環境整備施設も一体の施設であり、同時期に整備することで相乗効果が得られる。</li> </ul>				
評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		